

新たな事業類型に関する論点について（案）

		VFMに関するもの	リスク分担に関するもの
従来型 (サービス 購入型)		支払額削減以外の VFMについて	リスクを明確に認識する ためのリスクワーク ショップ等の手段について
		VFMが果たすべき 役割について	
新たな事業 類型	収益施設 併設型	新たな事業類型における VFM評価のあり方について	本体事業と付帯事業との 間のリスク遮断について
	運営権 活用型	(現時点で既往事例が存在しないため、 空港等の先行事例の動向を見据えつつ対応)	

(1) 新たな事業類型におけるVFM評価のあり方について

- ・ 新たな事業類型におけるVFMを的確に把握するという観点で、国内外のケーススタディや論調を通じて、以下に関連する考え方等についての検討を想定（資料3-1、資料3-2、資料3-3）。

①収益施設併設型事業におけるVFMの考え方について

- 収益施設併設型事業において、本体事業と付帯事業との相乗効果により創出されたVFM評価について、どのような考え方があるか。

(2) 本体事業と付帯事業との間のリスク遮断について

- ・ 本体事業に悪影響を及ぼさず、事業者のインセンティブを引き出しつつ事業収入で一定程度の費用を回収するという観点で、国内外のケーススタディや論調を通じて、以下に関連する考え

方等についての検討を想定（資料４－１、資料４－２）。

- ①民間（事業者・投資家）が有する目利き力やリスク管理能力を効率的に活用するための方向性や条件整備について
- 本体事業と付帯事業とを完全に一体化して取り扱う場合に想定されるリスクと、その管理方法としてどのようなものが考えられるか。

（３）その他

- ・ 運営権活用型の事業については、現時点では既往事例が存在しないため、空港等の先行事例の動向を見据えつつ今後対応することを想定。